

農林大有機 NEWS

第5号

発行；平成30年3月 島根県立農林大学校

〒699-2211 大田市波根町970-1

電話；0854-85-7118

HP：http://www.pref.shimane.lg.jp/nourindaigakko/

福間、松本(有機農業専攻)

あいさつ

全国各地から桜の便りが届く季節となりました。去る3月9日は農林大学校の卒業式でした。今年度の卒業生は25名、有機農業専攻からは7名の学生達が巣立っていきました。新たな農業の担い手として頑張ってくれるものと大いに期待しています。

そして、来る4月12日は入学式です。新年度は学生数も増える予定で今から楽しみです。関係の皆様、今後とも農林大学校の有機農業専攻をよろしくお願いいたします。

島根県立農林大学校 校長 桑本幸夫

平成29年度の専攻学生

学生数 1年生9人(水稲4、野菜5)、2年生7人(水稲2、野菜5) 合計 16人
研修生 有機農業実践研修 男性3人

実習の研究課題から

題名 有機葉物野菜の硝酸イオン濃度低減技術の検討

野菜に含まれる硝酸イオンは健康に悪影響がある可能性が指摘されていることから、近年、一部の量販店から硝酸イオン含有量の低い野菜が求められています。

そこで、植物体内の硝酸イオン濃度の低減に効果的な栽培方法について検討しました。

試験区には、窒素代謝を促進することを期待してリン酸散布区(リン酸グアノ)と海藻散布区(自家採取)を、土壌中の窒素低減効果をねらって稲わら混和区を、そして光合成促進効果を期待して疎植区(株間10cm)を設けました。H27年10/14、翌年1/13、4/27、10/6に播種機で株間5cmに播種し、収穫時に計測しました。結果は表1のとおりです。

表1 コマツナの硝酸イオン濃度(葉) (PPM)

試験区	11/22	3/15	5/30	11/9	平均
リン酸混和	5,650	4,050	1,080	5,700	4,356
稲わら混和	7,000	3,500	3,850	5,850	5,130
海藻散布	6,550	2,900	1,020	5,000	4,124
疎植	6,550	3,400	2,150	5,400	4,640
無処理	5,300	3,700	3,300	5,800	4,800

海藻区とリン酸区、疎植区の平均硝酸イオン濃度は、無処理区の値を下回り、低減効果がみられました。中でも海藻区とリン酸区は、期待していた植物体内における窒素代謝の促進効果が発揮されたものと考えられました。

[研修部門]「有機農業実践研修」3人受講

今年度で4年目となる、「有機農業実践研修」を5月から10月までの半年間週1回、計22回開催しました。3人の方が受講されました。基本的に午前中は教室で専門分野の講義、午後は研修ほ場での農業実習を行いました。

10月17日には閉講式を行い、3人とも研修を修了されました。修了生からは「今後有機農法に益々、力を入れてより良い作物を消費者に提供したい。」などの決意表明がありました。

この研修は次年度も、募集定員10名で引き続き開催します。

内容は有機栽培の入門編で、実践農家さんの講義や農場訪問も計画しています。農林大ホームページに実施要領を載せていますので、ご応募や周りの方々へ情報提供をお願いします。



サツマイモの定植の様子

[連携農業者情報] 地域農業実習 浜田市「(有)佐々木農場」「串崎昭徳氏」、吉賀町「福原圧史氏」、「石井政信氏」の農業経営を見学

農林大有機農業専攻では有機栽培農家6戸と協力協定を結び、「サテライト校」として連携し、講師として招いたり、見学先や農家留学先としてお世話になっています。

今年度は6月13日に、「いわみ地方有機野菜の会」の(有)佐々木農場さんのほ場と串崎昭徳氏のほ場を見学いただきました。いずれも葉物野菜を周年で栽培されていますが、グループの活動や具体的な栽培技術を学びました。

10月3日には、吉賀町柿木村「食と農かきのきむら企業組合」の福原圧史氏から柿木村における有機農業の取り組みについて説明を受け、その後柿木村の有機農業の先駆者としてご活躍の石井政信氏の野菜圃場を見学させていただきました。学生は実践農家の農業経営に触れる経験ができました。



[トピックス] 卒業論文発表会、卒業式が行われました



1月15日に2年生が全校学生、職員の前で卒業論文の成果を発表しました。水稻班は雑草量と食味の関係性や除草方法で期待されているチェーン除草の実施方法について、野菜班はイチゴやブロッコリーの害虫対策や葉物野菜の移植栽培技術などについて発表し、いずれも上位入賞をしたり良好な成績を収めることができました。また3月9日には卒業式が開催され、専攻の7名も卒業しました。進路は親元就農が1名、雇用就農5名、就農に向けた農業研修継続が1名となりました。それぞれの道で活躍してくれることと期待しています。